

白鷹町認知症高齢者見守りネットワーク

見守り 支え合い

お年寄りが地域で安心・安全に暮らせるよう応援します

認知症・介護に関するご相談は
地域包括支援センター Tel.86-0112

「地域包括ケア」と「ふれあいいきいきサロン・ボランティア」

地域包括ケアを推進するシステムとは、高齢者が支援が必要になっても住み慣れた地域で安心安全に住み続けられるための、保健・医療・福祉・介護等のネットワークシステムです。

ネットワークシステム構築のためには、保健・医療・福祉・介護の全国共通の公的サービスだけでなく、町の状況にあった生活支援サービスが必要です。そのひとつとして「ふれあいいきいきサロン」があり、重要な活動となっています。

年々増えている認知症は誰もが発症する可能性がある病

気です。たとえ認知症になっても、身近に支援者がいて「ふれあいいきいきサロン」のような交流の場があれば、住み慣れた地域で暮らし続けることができます。

認知症高齢者にとって、「ふれあいいきいきサロン」や元気の同世代によるボランティア等は、生活支援のために重要な活動です。また、高齢者の健康づくり、介護予防には、「生きがい」、「就労」、「ボランティア」が有効であると言われており、町内では、元気な高齢者がボランティアでもあり参加者にもなっている「ふれあいいきいきサロン」が増えていきます。

12月17日、「地域で支え合うサロンの絆」というテーマで「ボランティア研修会」が開催されました。研修会では「認知症高齢者見守りネットワーク協議会」の活動についての講話と認知症啓発紙芝居の上映があり、参加者もボランティアも共に支えあう大切さを再認識しました。

「ふれあいいきいきサロン」は、

◇認知症高齢者にとって、安心して近所の方と交流できる場です。また、役割を持つて参加でき、自信を取り戻せる場です。

◇認知症高齢者の変化に、早く気づいてもらえる場です。

◇正しい認知症ケアを学ぶことができます。

元気な高齢者のみなさん、「ふれあいいきいきサロンのボランティアになってみませんか。ボランティアで健康づくりと介護予防を、ともに推進しましょう。



■相談・問い合わせ

健康福祉課地域包括支援センター
86-0112

町報川柳 「自分」

自分から ごめんネと言え 仲間の輪
自分でも わからぬ金の 使い道
孫ばなれ 自分探しに 模索する
自分面 鏡にたてば 皺が増え
自分と勝負 免許センター 合格ランプ
自分だけ 進めば温い 風が押す
自分の粗 見えて自分を 見失う
自分は鏡 自分姿 垣間見る
自分には いっお迎えが 来るのやら
胸に手を 当てる自分を 振り返る
夕方に 自分でついで 一杯だ
若者に 負けたふりして 自分が勝ち
親不孝 自分自身の ことでした
世がまるく 自分にきびしく 皆に愛
青春は 自分磨きの 時間です
過去のこと 消すに消せない 自分歴
センスあり 自画自賛する 物づくり
自分だけ よければいいじゃ 駄目よだめ
川柳書き 自分を見つめ また詩う
句の評価 なくてひとつを 見失う
自分史を 書いてみようよと ペンを持つ
自分にも 一度はみたい 夢世界
天職の 誇り自分の 汗流す
侘しさは 自分だけでは ない施設
自分より 若いじゃないかと 同い年
我が身みて 足跡返り 岐路を知る
自分持つ 仮面上手に 使い分け
「見つけた」 はずの自分は すぐに過去
自分史に 釈迦も許した 嘘一つ
自分だけ 独り占めする 窓の富士
何事も 自分のことは 自分もち
金借りるに 自分の意見 出しにくい
亡き父母の 愛で育った 自分です
笑顔のきみ 二元氣くれると 自分に言う

長井市 安部ありな
高岡 安部 健一
武蔵野 池田 武子
山口 石川與次衛門
荒砥甲 五十公野かをる
大瀬 五十公野春己
世田谷 糸 マサ
鮎貝 植木 英夫
浅立 梅津美千子
滝野 海老名さち
世田谷 遠藤 八重
横須賀 大滝健次郎
高玉 奥山 節子
高玉 片山 時美
菖蒲 小関 弘
山口 児玉 保子
つくば市 斎藤 靖夫
鮎貝 神保 玲子
畔藤 菅原 敦子
荒砥甲 鈴木 トミ
荒砥乙 鈴木美貴子
高玉 関口 つや
荒砥乙 高橋 朝子
荒砥乙 高橋 白兔
荒砥乙 土谷 灯一
箕和田 土屋 敏子
箕和田 土屋 平敏
高玉 橋本 ね子
箕和田 樋口 昭吉
荒砥乙 保科 努
町田市 保高 悦子
ふじみ野 村上 桂造
十王 守谷 三郎
鮎貝 横沢 直太
山口 渡部喜美子

次回「初」一月二十五日まで。「節」二月二十五日まで。
白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場総務課企画室情報係 宛